



良質な住宅の大量供給

多摩ニュータウン



多摩ニュータウン 鶴牧・落合地区

多摩ニュータウンは、高度経済成長期の東京で深刻化していた、人口・産業の都市圏一極集中による住宅不足と都市のスプロール化に対処するため、都心から20～30km離れた多摩地域に、計画的住宅市街地形成と良質な住宅の大量供給を目的として1965年から建設がスタートした日本最大規模(約2,900ha)のニュータウン開発事業。UR都市機構はマスタープラン策定や約1,400haの新住宅市街地開発事業の施行、住宅供給などを行いました。現在、約9万世帯・人口約22万人が生活する都市へと成長しています。

所在地：東京都稲城市・多摩市・八王子市・町田市 地区面積：約2,900ha



UR都市機構が建設・管理する緑豊かな賃貸住宅団地のひとつ(永山団地、管理戸数3253戸)



凡例			
―― ニュータウン区域界	―― 行政界	誘致施設等	水道施設・清掃工場等
商業・行政サービス等	住宅	公園・緑地	その他(分譲宅地等)
教育施設	住宅または誘致施設等		



Japan
平成13年度都市景観大賞 美しいまちなみ大賞(ライブ長池地区)
平成11年度都市景観大賞(景観形成事例部門(地区レベル)) (唐木田地区)
平成7年度都市景観大賞(都市景観100選) (ファインヒルいなざ向陽台地区)
1995年 第15回緑の都市賞 地域緑化部門(建設大臣賞) (ライブ長池せせらぎ計画)
平成5年度日本造園学会賞 特別賞(B3地区)
昭和60年度日本都市計画学会計画設計賞(鶴牧・落合地区)

